

ろまんちっく どらまちっく ゆらまちっく



日本海に面する鶴岡市由良地区は寒鰯で有名。そんな由良地区に地域を熱くしている集まり「ゆらまちっく」がある。

設立 素人集団の集まり

ゆらまちっく（正式名：由良地域協議会）は平成21年2月に誕生した。前身である『チームたら』は20歳から60歳までの5人程度の集まりで、由良を良くしようという気持ちは人一倍あったが、漁業、観光などわからないことが多い素人集団であったと、設立者のひとり齋藤会長はいう。

広がり 熱意が地元へ広がる

「由良を何とかしねば」やりたいたいことがあれば、その道のプロに声をかけ、活動の輪はどんどん広がっていった。その熱意は地元の自治体、漁協関係者も巻き込み、現在は30人ほどの組織に成長している。鍵は地元への愛情、熱意であった。今では、加工品の生産、修学旅行生の受入、寒鰯まつりなどのイベント運営、漁村体験活動など幅広い活動を行っている。

動き 地元の良さを発信

地元の良さを知ってもらう手段として、旅行者者とタイアップして、修学旅行生の受入を始めた。体験メニューの豊富さと美味しい料理が口コミで広がり、現在は年間300人程が訪れるまでとなった。由良を好きになった子どもとその家族がリピーターとなつて訪れることも多くなっている。

※庄内地方の方言で「由良を何とかしなければ」の意味



齋藤勝三会長（中央）と海鮮レディースの皆さん



貝殻クラフト作り



定置網などの漁体験

漁村体験

体験は漁の体験や磯観察など夏が中心のものが多いがクラフト作りや料理教室など通年行っているものもある。冬の寒鰯の季節は終わってしまったが春はサクラマス、夏は岩ガキ、秋はズワイガニと四季を通じて美味しいものももりだくさん。みなさんも由良を訪れて、美味しい料理と漁村体験をしてみたいかがだろうか。



魚料理レシピ紹介



料理教室

漁食文化発信



寒鰯まつり(1月)



大漁まつり(10月)

イベント開催

[ゆらまちっく]のロゴは、地元小学生が考案したものをデザイナーがアレンジして作成した。由良のシンボルである白山島と島にかかる橋、そして日本海に沈む夕日を描いている。



お問い合わせ：由良地域協議会「ゆらまちっく戦略会議」

電話 0235-73-4141

ホームページ <http://www.yura-yamagata.jp/>



ゆらまちっくでは小鯛だし、干しだこ、八乙女うどんなどの商品開発も行っている。

美味しいのはもちろんだが、ここのすごいところは市場で価値のないものに付加価値を見出して商品化しているところ。食材を最大限に活かす地元でしかできない商品開発である。

新商品の干しだこは庄内観光物産館ふるさと本舗、庄内おばこの里こまぎ、ホテル八乙女で販売している。